

令和 6 年度
埼玉県障害者アートフェスティバル
事業報告

I 目次（概要）

概要

II 芸術性・創造性あふれる障害者アートの魅力発信

[美術部門]

- ◎ 障害者アート魅力発信事業
障害者アートの常設展示 P3
4月～3月 ホテル(4か所)、公共施設ほか(10か所)
- 障害者アートの利活用推進 P4
埼玉県障害者アートオンライン美術館 P6
- 障害者アート企画展 P7
12/4(水)～8(日)埼玉県立近代美術館 一般展示室

[舞台芸術部門]

- ◎ 彩の国バリアフリーコンサート P9
2/22(土)埼玉会館 小ホール
- 障害者ダンスチーム「ハンドルズ」 P11
コンドルズとのコラボ公演
4/6(土)～7(日)新宿スペース・ゼロ

[共通分野]

- 各種イベントでの障害者アート展示 P12
- 教育機関等との連携 P17
- 障害者アーティストと県民との交流 P19

III 障害者の芸術文化活動の裾野拡大

[美術部門]

- 障害者絵画展 P20
12/1(日) 吉見町民会館フレサよしみ

[芸術文化の体験]

- ◎ 打楽器 ワークショップ P21
8/21(水),10/14(月・祝) 埼玉県障害者交流センター
- ◎ スティールパン ワークショップ P22
8/7(水),10/26(土) 埼玉県障害者交流センター
- ◎ 書道 ワークショップ P23
7/23(火・祝) 埼玉県障害者交流センター
- ◎ 創作 ワークショップ P24
8/11(日) 埼玉県障害者交流センター

[市町村事業の実施促進]

- ◎ 市町村ワークショップの開催支援 P25

事業の効果 P28

埼玉県障害者アートフェスティバル実行組織 P29

凡例) ◎ : 実行委員会が主催 □ : 実行委員会が共催または協力

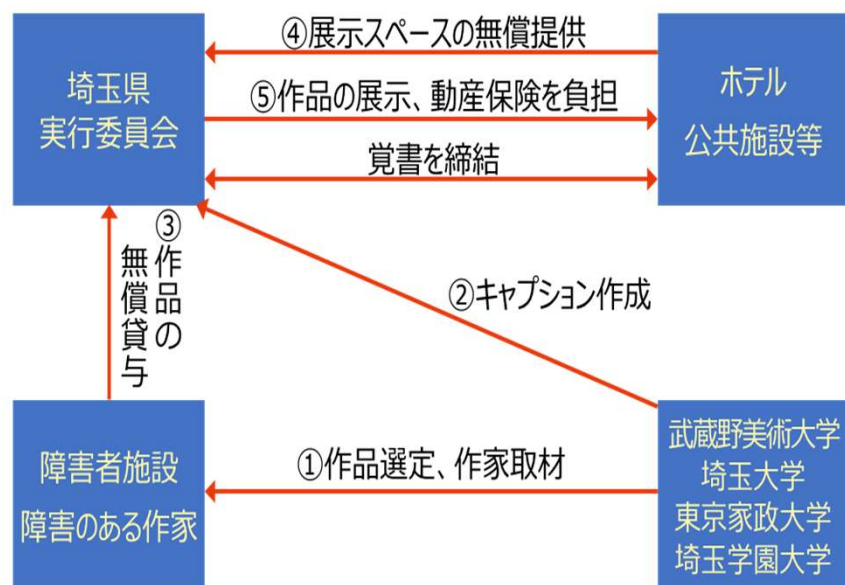
Ⅱ 実績の詳細－芸術性・創造性あふれる障害者アートの魅力発信

1. 美術部門

障害者アート魅力発信事業－①障害者アートの常設展示

障害者アート作品を県内ホテルや公共施設等に、半年に1回展示作品を入れ替えながら、常設展示した。

■ 展示推進の仕組み



■ 展示場所

ホテル：浦和ロイヤルパインズホテル、パレスホテル大宮
ホテルヘリテージ、別所沼会館

公共施設：県庁、埼玉会館、入間市文化創造プラザ「アミーゴ」
さいたま文学館、熊谷図書館、久喜図書館、
川口市立映像・情報メディアセンターメディアバン

その他：霞ヶ関カンツリー倶楽部、さいたまスーパーアリーナ、
埼玉スタジアム2002

■ 展示作品数

4月～9月：27作品

10月～3月：27作品



さいたま文学館 ロビー

Ⅱ 実績の詳細－芸術性・創造性あふれる障害者アートの魅力発信

1.美術部門

障害者アート魅力発信事業－②障害者アートの利活用推進

10月には新たに県ホームページに障害者アート利活用の仕組み及び約100作品の画像を掲載、埼玉県経営者協会に御協力いただき企業へのPRを実施した。今後は掲載作品を充実し、リース展示やデザイン活用の企業等への積極的なPRを進める。

【令和6年度利活用実績】

○ KADOKAWA

- ・ 8.24、31、所沢市内のカフェで障害者アート活用して小・中学生と保護者を対象に対話型鑑賞ワークショップを実施(講師：三澤委員長)
- ・ 活用した2作品を11月末まで展示

○ 小川工業(株)

- ・ 4月～1月、工事用足場シートにデザインを使用
- ・ 工事現場の近隣挨拶等配布用のクリアファイルのデザインに使用

○ VIVA LA ROCK 2024 (音楽フェス)

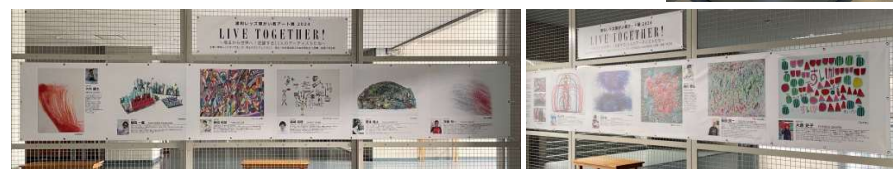
- ・ 5.3～5.6、ガーデンステージ(けやきひろば)に障害者アート2点のデザインを用いたフラッグを掲示

○ 真下建設(株)

- ・ 絵画作品をリースにより応接室に展示、半年ごとに作品を入れ替え

○ 浦和レッドダイヤモンズ(株)

- ・ 埼玉スタジアム2002にて3.3～12.8のホームゲーム開催日にレプリカ11作品と購入4作品を展示

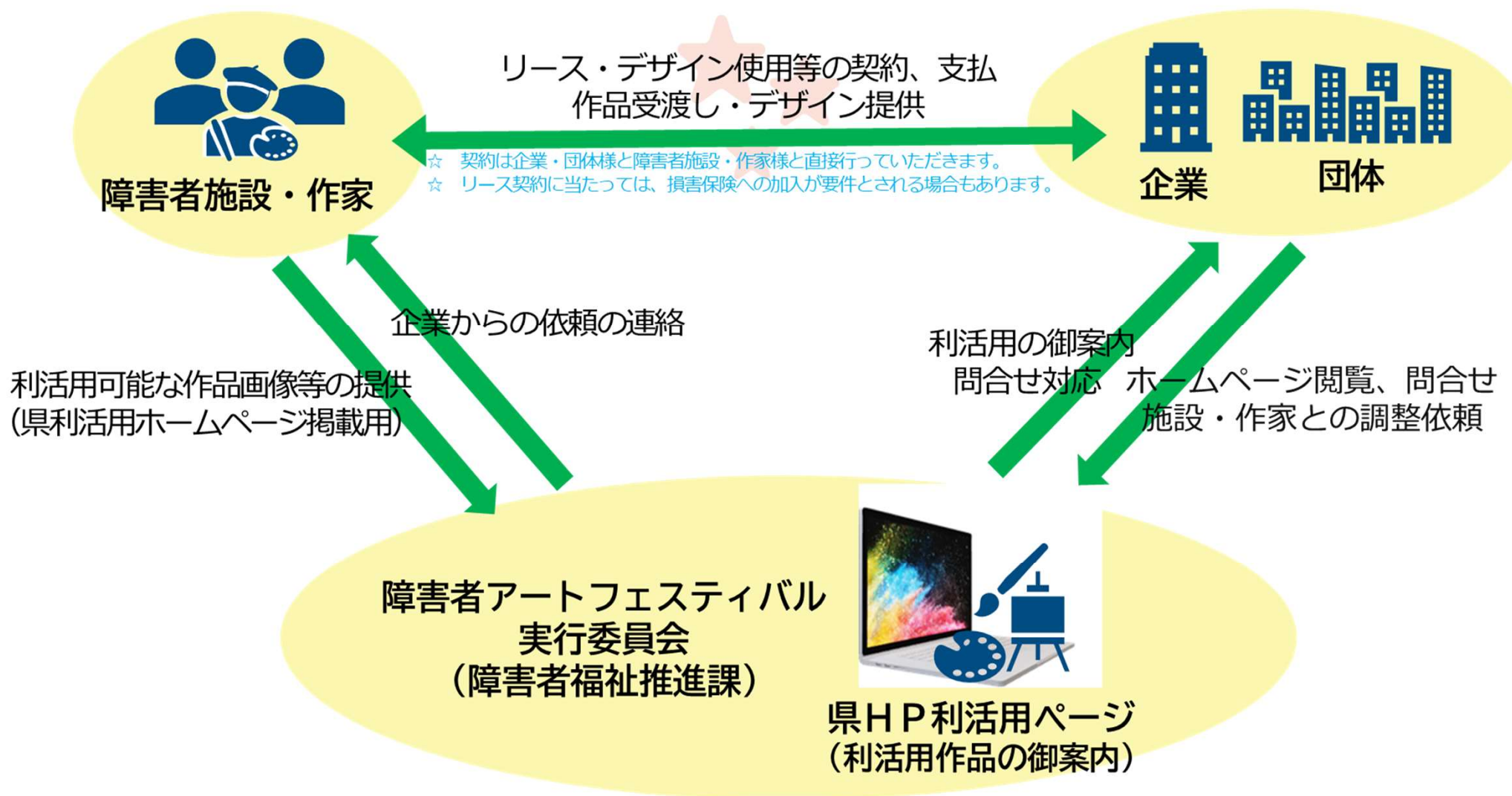


Ⅱ 実績の詳細－芸術性・創造性あふれる障害者アートの魅力発信

埼玉県障害者アート利活用の仕組み

障害者福祉推進課

イメージ図



Ⅱ 実績の詳細－芸術性・創造性あふれる障害者アートの魅力発信

1. 美術部門

埼玉県障害者アート オンライン美術館

障害者アートの魅力を発信するオンライン美術館。作品及び作品解説、専門家による寄稿文、創作風景の動画を追加掲載。展覧会の情報等も随時掲載した。

■ 開館日 令和3年4月27日(火)

TOPへ



■ 閲覧数 30,972件 (R7.3月末時点)

■ 掲載コンテンツ (R7.3月末)
作品107作品、寄稿文10件
動画コンテンツ9件、情報更新数186件

作品
一覧



寄稿文
一覧



動画
一覧



リアル展示



Ⅱ 実績の詳細－芸術性・創造性あふれる障害者アートの魅力発信

1.美術部門

第15回 埼玉県障害者アート企画展「Coming Art 2024」（1／2）

社会福祉法人等民間団体が主体となって企画・運営する企画展。県内の障害者アーティストの作品を多数展示。実行委員会は会場確保や広報、運営で連携・協力。

- 開催日 令和6年12月4日(水)から12月8日(日)
- 会場 埼玉県立近代美術館一般展示室 1・2
- 展示作品 出品者128名、約600点
- 主催 埼玉県障害者アートネットワークTAMAP±○
(県内の障害者アートに取り組む福祉施設・事業所によるネットワーク組織。35団体が参加)
社会福祉法人みぬま福祉会
- 共催 埼玉県、埼玉県障害者アートフェスティバル実行委員会
- 鑑賞者数 入場者2,045人
- 入場料 無料
- メディア掲載 読売新聞 12/6(金)
埼玉新聞 12/8(日)
朝日新聞 12/8(日)



第15回 埼玉県障害者アート企画展「Coming Art 2024」（2 / 2）

■ アンケートから（抜粋） 提供 みぬま福祉会

- ・ もう少し長く展示してもらえたら、もっといろいろな人に見てもらえるだろうなぁと思います。
- ・ どの作品も素晴らしく、また、作家さんのお話を伺うことで、作品のバックグラウンドも知ることができ、大変感動しました。
- ・ 障害者が描いた作ったものだからということ関係なく単純に良いなというアートばかりで良いものが見れました。
- ・ 県の取り組み本当に素晴らしいです。審査があることでより制作する皆さんの意識が高まりいい作品が生まれているのだと思います。多様な作品を見ていてとても楽しかったです。
- ・ みんなすごい感動しました。障がい者というのは一体何を指して言うのかな。どの作品も素晴らしい、涙ぐましい。
- ・ 今年は大作が多いように感じました。ほとぼしるエネルギーを感じさせます。細かいところまで描き切れる根気もすばらしいですね。すごく元気をもらいました。ありがとうございました。
- ・ 全体的に色彩が豊かで、表現も多様で大変すばらしかったです。障害者アートは前より気になっており、今回の企画展に参加し、実際のアーティストさんと直接お話を聞き、考えや思いを受け取れたことは貴重な時間でした。

2.舞台芸術部門

彩の国バリアフリーコンサート～音楽は心をつなぐ～（1／2）

世界で活躍されている盲目のピアニスト辻井伸行氏の恩師でも知られ、東京音楽大学准教授でピアニストの川上昌裕さんを迎え、障害のある人もない人も一緒に質の高い音楽を気軽に楽しめるコンサートを開催した。

- 開催日 令和7年2月22日(土)
- 会場 埼玉会館 小ホール
- 出演者 川上昌裕
- 共催 公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団
埼玉県障害者交流センター
- 鑑賞支援 手話通訳
要約筆記
ヒアリンググループ
Antenna
- 鑑賞者数 343人
- 入場無料 事前申込制



彩の国バリアフリーコンサート～音楽は心をつなぐ～（２／２）

■ アンケートの感想（抜粋）

- ・ とても素敵な時間になりました。自閉症の息子も大変満足してました。
- ・ 要約筆記を見てリアルタイムで表示するのは難しいことだと感じました。
バリアフリーについて考える機会になりました。
- ・ 良い取組ですので、今後も続けて欲しい。
- ・ 車椅子での鑑賞、ご配慮ありがとうございました。
- ・ Ontennaを初めて使用しましたが、音の大きさによって振動の強さが変わったり、テンポも感じ取ることが出来てとても迫力がありました。
- ・ 辻井さんや紀平さんの指導話に心が打たれました。それぞれの個性を大事に、相手に寄り添って力を伸ばすという指導方法に、障害のある子を育てる希望をいただきました。
- ・ ピアノが大好きな重度障害がある息子に素敵な演奏を聴かせることが出来ました。演奏中、手を叩いたりして楽しんでいました。ありがとうございました。

Ⅱ 実績の詳細－芸術性・創造性あふれる障害者アートの魅力発信

2.舞台芸術部門

障害者ダンスチーム「ハンドルズ」とコンドルズとのコラボ公演

一流のダンサー・振付家である近藤良平氏主宰のコンドルズとハンドルズによるダンス公演。
コンドルズ側から出演依頼があり公演を開催。

- 開催日 令和6年4月6日(土)、7日(日)
- 会場 こくみん共済coopホール
スペース・ゼロ 新宿
- 出演者 ハンドルズ(8名)
コンドルズ(8名)

- 主催 ROCKSTAR有限会社
※コンドルズのマネジメント会社
- チケット 一般 5,000円
障害者 1,000円
- 鑑賞者数 409人



Ⅱ 実績の詳細－芸術性・創造性あふれる障害者アートの魅力発信

3. 共通分野

VIVA LA ROCK2024 「You'll Never Live Aloneプロジェクト」出展

日本最大級のロックフェス「VIVA LA ROCK2024」に障害者アート展示のブースを出展し、普段は障害者アートに触れることのない方々へ障害者アートの魅力を発信した。

- 開催日 令和6年5月3日(金・祝)～5月6日(月・祝)
- 会場 さいたま新都心 けやきひろば
- 主催 株式会社FACT、株式会社ディスクガレージ
- ブース来場者数 2,374人
- 出展内容
 - ・出張オンライン美術館 オンライン美術館掲載作品の一部を展示
 - ・みんなで作るゆるねばアート シールアートを行う参加型企画
- 屋外ライブ
 - ・スティーロパンバンド「Colors」の演奏
 - ・障害者バンド「いいもんず」のライブ
- ライブ会場内
 - ・障害者アート30秒CM放映 4日間計44回放映
- 「You'll Never Live Aloneプロジェクト」とは
VIVA LA ROCKと埼玉県が、県内の障害者アートに関する事業や自殺防止対策事業など、生きるための活動やメッセージを広めるために発足したプロジェクト。



出張オンライン美術館、創作風景動画放映



ゆるねばアート作成の様相

Ⅱ 実績の詳細－芸術性・創造性あふれる障害者アートの魅力発信

3. 共通分野

第72回県展と同時期・同会場での障害者アート展示

第72回県展開催期間中に県展会場である埼玉県立近代美術館で、障害者アートを展示し、魅力の発信をした。

- 開催日 令和6年5月29日（水）～6月20日（木）
- 会 場 埼玉県立近代美術館 3階
- 協 力 社会福祉法人みぬま福祉会 工房集
医療法人社団双里会 多機能型事業所わっくす
社会福祉法人昴 デイセンターウィズ ほか
- 内 容 絵画38点
- 鑑賞者 2,688人



鑑賞者の感想

- ・ 作品から作者の息づかいまでもが聞こえてきそうでした。もっと多くの作品に出会ってみたいと思いました。来て良かったです!!
- ・ とても魅力的な作品ばかりで素晴らしい。県展と同じ場所に展示することで、多くの人に鑑賞してもらえるのは良い。今後もぜひ継続してもらいたい。
- ・ 素晴らしい作品ばかり、12月の障害者アート企画展にも観にいきたいです。
- ・ 昨年、たまたま立ち寄ったアート展を観て感動し、今年も伺いました。唯一無二の素晴らしい芸術を拝見できて、幸せです。来年も楽しみにしています。
- ・ 県展の展示室の中で一番良かった。面白いし、のびのびしているし、みなさんが楽しんで描いているのが伝わってくる。部屋にかざりたい絵もいくつかありました。

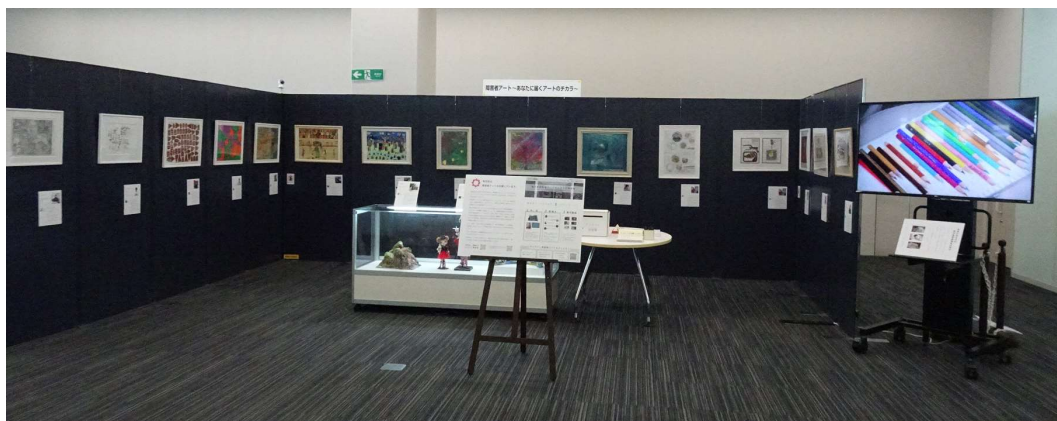
Ⅱ 実績の詳細－芸術性・創造性あふれる障害者アートの魅力発信

3. 共通分野

川口市立映像・情報メディアセンター メディアセブンにおける障害者アート展示

障害者アート魅力発信事業の展示協力施設である川口市立映像・情報メディアセンターメディアセブンで、障害者アートを展示し、魅力の発信をした。

- 開催日 令和6年8月1日（木）～8月29日（木）
- 会場 川口市立映像・情報メディアセンター メディアセブン
- 協力 社会福祉法人みぬま福社会、社会福祉法人昴
社会福祉法人けやきの郷、NPO法人とりにてい
埼玉県社会福祉事業団、社会福祉法人ささの会
公益社団法人やどかりの里
- 内容 絵画23点、立体3点、創作風景動画3本



鑑賞者の感想

- ・どれもすばらしい作品でした。学生さんのコメントも、作者の方や作品にやさしくよりそうものばかりで、より一層、作品に愛を感じることができました。これからもぜひこのようなステキな機会をご提供下さい。
- ・全ての作品に見ごたえがあり、とても楽しめました。創作風景動画公開もよくわかり、実際の絵と合わせて見ることで、楽しめました。
- ・皆さんにはこれからも描き続けてほしいです。もっと多くの人々にアート展のことを知ってほしいです。
- ・原口めぐみさんのオレンジ色のネコに大変ひかれました。長い時間をかけて思いを表現されていることに感動しました。

Ⅱ 実績の詳細－芸術性・創造性あふれる障害者アートの魅力発信

3. 共通分野

桶川市民ホールにおける障害者アート展示

障害者アート魅力発信事業の展示協力施設である桶川市民ホールで、チャリティーコンサート実施に合わせて障害者アートを展示し、魅力の発信をした。

- 開催日 令和6年8月3日（土）～8月7日（水）
- 会場 桶川市民ホール ギャラリー2
- 協力 社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団
- 出展内容
障害者支援施設あけおの10作品（絵画8点・立体2点）



展示作家等の様子・感想

- ・展示されている自分の作品を指差し、キャプションも自身で読み返していました。
- ・「綺麗」「これからも絵を頑張る」など、今後の創作にも意欲を示すような話が聞かれました。
- ・「これー！」と自身の描いた作品を指差し、嬉しそうな表情を浮かべていました。
- ・作品を通じて、障害者アートの魅力や施設の取り組みについて知っていただく機会にもなったと感じます。
- ・利用者の方自身も創作意欲の向上に繋がる為、毎年開催させて頂き、嬉しく思います。

Ⅱ 実績の詳細－芸術性・創造性あふれる障害者アートの魅力発信

3. 共通分野

コープみらいフェスタにおける障害者アート展示

さいたまスーパーアリーナで開催された、コープみらいフェスタにおいて障害者アートを展示し、魅力の発信をした。

- 開催日 令和6年10月27日（日）
- 会場 さいたまスーパーアリーナ
- 主催 生活協同組合コープみらい
- 内容 絵画15点
- 来場者数 464人



Ⅱ 実績の詳細－芸術性・創造性あふれる障害者アートの魅力発信

3. 共通分野

教育機関等との連携①

小中学校美術教師向けの指導技術を高めるための研修会「埼玉県造形教育研究大会」において、障害者アートをテーマにワークショップ形式で実施された。
また、障害者アーティストが講師として参加した。

- 開催日 令和6年8月6日(火)
- 会 場 深谷市岡部公民館
- 主 催 埼玉県美術教育連盟
- 講 師 社会福祉法人みぬま福祉会
工房集職員 小嶋氏、城田氏
アーティスト 阿部美幸氏
尾崎翔悟氏
関翔平氏
- 参加者 約40名
- 研修内容
 - ・ 工房集の活動紹介
 - ・ 各作家の紹介
 - ・ 障害者アート作品の鑑賞及び意見交換
 - ・ 講師、参加者全員で粘土作品を作成し鑑賞・作品説明



Ⅱ 実績の詳細－芸術性・創造性あふれる障害者アートの魅力発信

3. 共通分野

教育機関等との連携②

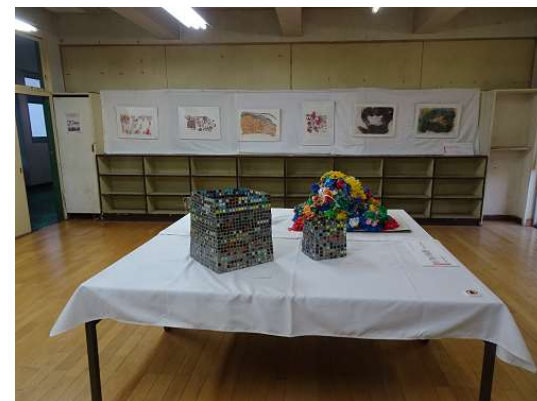
「埼玉県造形教育研究大会」開催後、上尾市立原市中学校において、生徒・地域住民を対象とした障害者アート展示会及び障害者アートをテーマとした授業が行われた。

■ 期 間 令和6年11月1日～11月中旬

■ 展示会 約30作品展示

■ 授業内容

- ・ 障害者アートの鑑賞
- ・ 作品の感想を3種類の色が付箋を使い分け記述
- ・ 付箋の色は各生徒の感情に応じて使い分けている
- ・ 各生徒が作品の感想を発表



Ⅲ 実績の詳細－障害者の文化芸術活動の裾野拡大

1. 美術部門

障害者絵画展

出品希望者を公募し、選考することなく会場のキャパシティの許す限り展示する絵画展。障害者週間に開催する「みんな幸せ・共生社会 県民のつどい」と同時開催。

- 開催日 令和6年12月1日(日)
- 会 場 吉見町民会館フレサよしみ
- 主 催 埼玉県（障害者福祉推進課）
- 展示作品 出品者198名、198点
- 鑑賞者数 508人
- 入場料 無料



鑑賞者の感想

- ・ 障害ある、なしの人に関係なく、すごいと思わせてくれるそれぞれの作品が見られました。また見たいです。
- ・ 毎年、作品展を楽しみにしています。いきいきとした作品に、その人自身の力を感じ、観ている私も、生きる力をいただいています。元気をいただいています。ありがとうございました。

福祉施設関係者の感想

- ・ 他の施設の方(ご本人様も職員さんも)の発想の豊かさにおどろかされました。とても参考になります。私も職場に戻ったら、まずは、他の職員と想談できる環境を作るところから始めたいと思います。

Ⅲ 実績の詳細－障害者の文化芸術活動の裾野拡大

2. 芸術文化の体験

打楽器ワークショップ

障害のある方が、太鼓やマラカスなどリズムに合わせて気軽に楽しみながら、音楽を通じた表現活動を体験するワークショップを開催した。

- 開催日 令和6年8月21日(水),10月14日(月・祝)
- 会場 障害者交流センター ホール
- 共催 社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団（埼玉県障害者交流センター）
- 講師 荻原松美氏(シエナ・ウインド・オーケストラ打楽器奏者)
- 参加者数 計70人



参加者の感想

- ・初めてワークショップに参加したがとても楽しかった。
- ・普段触れることのない楽器さわられて嬉しかった。
- ・楽器を買ってあげたくてもどんな反応をするか不明なので、ここで実際にさわらせてもらえて良かった。

Ⅲ 実績の詳細－障害者の文化芸術活動の裾野拡大

2. 芸術文化の体験

スティールパンワークショップ

障害のある方が、スティールパンの演奏を楽しみながら、音楽を通じた表現活動を体験するワークショップを開催した。

- 開催日 令和6年8月7日(水),10月26日(土)
- 会場 障害者交流センター ホール
- 共催 社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団（埼玉県障害者交流センター）
- 講師 出口雅生氏(学校法人九里学園浦和大学こども学部教授、作曲家、編曲家、SteelPanBand-Pele-主宰)
- 参加者数 計48人



参加者の感想

- ・スティールパンの音色が素敵でビックリした。
- ・とても楽しかった。次回もまた参加して上手になりたい。
- ・カラーズの演奏がすばらしかった。

Ⅲ 実績の詳細－障害者の文化芸術活動の裾野拡大

2. 芸術文化の体験

書道ワークショップ

講師からのお題に沿って考えながら字を書いたり、大筆を持って体全体を使いながら書の楽しさ体験するワークショップを開催した。

- 開催日 令和6年7月23日(火・祝)
- 会場 障害者交流センター 研修室1・2
- 共催 社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団（埼玉県障害者交流センター）
- 講師 安田有吾氏(書楽家、コンドルズメンバー)
- 参加者数 19人



参加者の感想

- ・楽しかった。また参加したいです。
- ・書くだけではなく、色々考えたりみんなで書いたり非常に良かった。
- ・さまざまな工夫をして頭の体操になりました。ありがとうございました。

Ⅲ 実績の詳細－障害者の文化芸術活動の裾野拡大

2. 芸術文化の体験

創作ワークショップ

社会福祉法人みぬま福社会 川口太陽の家の利用者に講師を依頼し、障害のある方もない方も楽しんでステンドグラスの作品作りを体験するワークショップを開催した。

- 開催日 令和6年8月11日(日)
- 会場 障害者交流センター 研修室2
- 主催 埼玉県障害者アートフェスティバル実行委員会
社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団（埼玉県障害者交流センター）
- 講師 社会福祉法人みぬま福社会 川口太陽の家
荒井堯氏、伊藤裕氏、片波見知代氏、宮里亨氏
- 参加者数 24人



参加者の感想

- ・新しい体験ができて楽しかったです。
- ・たくさんのガラスから選んで組み合わせて形がすごくきれいでよかった。
- ・お姉ちゃんも妹もみんな体験できてとても良かったです。

Ⅲ 実績の詳細－障害者の文化芸術活動の裾野拡大

2. 芸術文化の体験

市町村ワークショップの開催支援（1／3）

障害のある方向けの芸術ワークショップの開催を希望する市町村を支援した。市町村が主催するワークショップについて、実行委員会が共催となった。

令和6年度は、所沢市、東松山市、志木市、秩父郡市、三芳町、計5件のワークショップの開催を支援した。

【東松山市（美術）】

- 名 称 美大生と一緒に作ろう！
Marbling-Bang-Bang-Born（マーブリング・バン・バン・ボーン）
- 日程・会場 令和6年9月19日(木)・東松山特別支援学校
- 講 師 旅するムサビプロジェクト学生有志6名（武蔵野美術大学）
- 参加者数 21人



参加者アンケートから

- ・マーブリングの絵具を水に落とすのが楽しかった。
- ・子どもたちがわくわく、イキイキ活動していたのが印象的でした。

市町村ワークショップの開催支援（2 / 3）

【三芳町（ダンス）】

- 名 称 障がいのある方向けダンスワークショップ
- 日程・会場 令和6年10月16日(水)・三芳町立中央公民館 多目的ホール
- 講 師 山本光二郎氏、黒須育海氏(コンドルズ)
- 参加者数 24人



参加者アンケートから

- ・最初は緊張したが、体を動かしているうちに楽しくなってきた。
- ・焼きそば作り（焼きそばを作る仕草）とジャンプするのが楽しかった。

【秩父郡市（打楽器）】

- 名 称 ちちぶで鳴らそう！障がいのある方向け打楽器ワークショップ
- 日程・会場 令和6年10月29日(火)・荒川農村環境改善センター
- 講 師 荻原松美氏(シエナ・ウインド・オーケストラ打楽器奏者)
- 参加者数 33人



参加者アンケートから

- ・色々な楽器を触ることができて楽しかった。
- ・ワークショップの内容について、（障害）事業所内での活動に活用できるか検討してみたい。

市町村ワークショップの開催支援（3 / 3）

【所沢市（ドライフラワー）】

- 名 称 障害のある人もない人も誰でもできるワークショップ
「ドライフラワーでクリスマスケーキを作ろう！」
- 日程・会場 令和6年11月30日(土)・所沢市こどもと福祉の未来館 多目的室
- 講 師 松永美湖(就労継続支援事業所「きぼう工房」代表)
- 参加者数 20人



参加者アンケートから

- ・(障害のある)お兄ちゃんも、気がねなく参加できるイベントでとてもありがたい。
- ・みんなで協力してケーキフラワーを完成させ、とても楽しかった。またの機会に参加したい。

【志木市（ドライフラワー）】

- 名 称 ドライフラワーワークショップ
- 日程・会場 令和6年12月14日(土)・志木市総合福祉センター ホール
- 講 師 松永美湖(就労継続支援事業所「きぼう工房」代表)
- 参加者数 23人



参加者アンケートから

- ・ケーキにお花を飾るところが楽しかった。
- ・自分は特に障害はないが、（障害のある方との）交流できる場は大切だと思う。

事業の効果

事業の効果（各アンケートの抜粋）

芸術性・創造性あふれる障害者アートの魅力発信

- ・驚くほど、皆、素晴らしかったです。部屋にかざりたくなる作品ばかりでした。（県展）
- ・素晴らしい作品が多く一部はアートとして売れるのではないかと。作品を商品化して工賃を増やす事も考えられると思います。（アート企画展）
- ・障害ある、なしの人に関係なく、すごいと思わせてくれる作品が観られました。また観たいです。（絵画展）

障害者の芸術文化活動の裾野拡大

- ・作品の発想の豊かさに驚かされました。施設でも、もっとアートに取り組みたいです。（絵画展）
- ・スティーλπンワークショップ楽しかったです。Colorsの活動に興味を持ちました。（音楽ワークショップ）
- ・重度障害がある息子に素敵な演奏を聴かせることが出来ました。演奏中、手を叩いたりして楽しんでいました。（バリアフリーコンサート）

- 障害者アートの魅力を発信し、障害者理解の促進と心のバリアフリーの浸透を図り、多様性を認め合う豊かな共生社会の実現を目指す。
- 障害者が芸術文化を享受する機会を拡大し、障害者の芸術文化活動の裾野を広げ、社会参加を推進する。

- ・1人1人の人柄や美しい絵に感動しました。本当に有難うございました。また見てみたいと思った他、何かイベントもあれば障害者と交流できる場があれば嬉しいです。（県展）
- ・辻井さんや紀平さんの指導話に心が打たれました。それぞれの個性を大事に、相手に寄り添って力を伸ばすという指導方法に、障害のある子を育てる希望をいただきました。（バリアフリーコンサート）
- ・障害者アートは前より気になっており、今回の企画展に参加し、実際のアーティストさんと直接お話を聞き、考えや思いを受け取れたことは貴重な時間でした。
- ・アートには境界線がないことを今回の作品を見て実感しました。（以上、アート企画展）
- ・ワークショップの中で障害のある人、ない人、色々な人と一緒に取り組むことができ楽しかった。（市町村ワークショップ）

埼玉県障害者アートフェスティバル 実行組織

埼玉県障害者アートフェスティバル実行委員会		
実施計画及び方針、予算、決算の審議、決定、フェスティバルの運営		
	氏名	所属・職
委員長	三澤 一実	武蔵野美術大学 教授
副委員長	岸田 正寿	埼玉県福祉部 副部長
委員	新井 千里	株式会社テレビ埼玉 取締役報道制作局長
委員	石上 城行	埼玉大学 教授
委員	川崎 賢一郎	埼玉県県民生活部 文化振興課長
委員	黒岡 美波里	社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団 埼玉県障害者交流センター 文化・芸術担当主幹
委員	佐藤 直樹	埼玉県教育局 生涯学習推進課長
委員	柴崎 由美子	特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン 代表理事
委員	関根 正昌	株式会社埼玉新聞社 代表取締役社長
委員	田中 一	特定非営利活動法人埼玉県障害者協議会 代表理事
委員	出口 雅生	浦和大学 教授
委員	豊田 亜紀	医療法人社団双里会 障害者生活支援センターたけさと 職業指導員
委員	平野 到	埼玉県立美術館 副館長
委員	廣澤 健一	一般社団法人埼玉県経営者協会 業務執行理事・専務理事
委員	前山 裕司	新潟市美術館 特任館長
委員	宮本 恵美	社会福祉法人みぬま福祉会 川口太陽の家・工房集 管理者
委員	森田 拓志	N H K さいたま放送局 コンテンツセンター長

(令和7年3月現在)